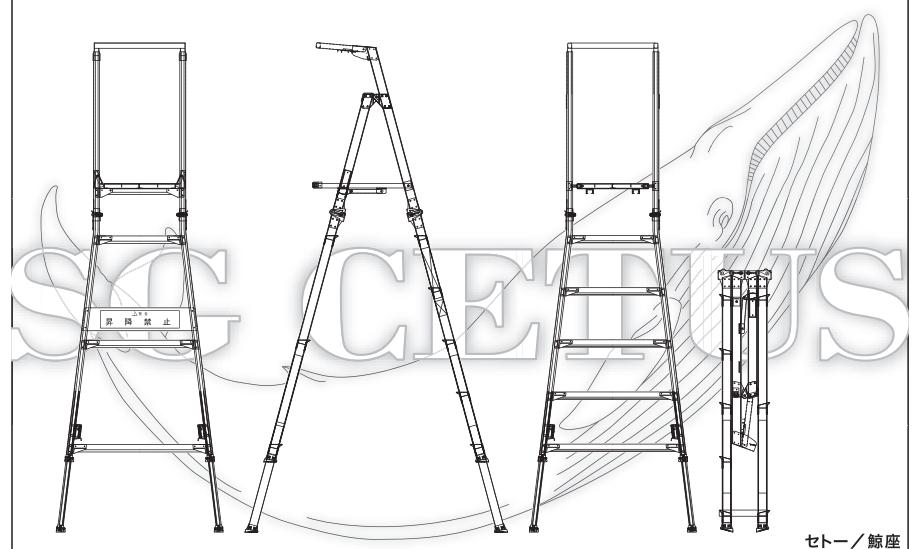


軽量作業台
SGセト-
取扱説明書



- 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。
- 一度変形した本体や金具は、著しく強度が落ちており、手直しても本体や金具の破損が起り、転倒や転落による人身事故の原因になります。
- この取扱説明書の無断転用を禁じます。



- 軽量作業台「SGセト-」は正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになる時は本製品の安定した状態を確認してください。
- この説明書に書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

製造・販売元
ジー・オー・ピー株式会社
 〒150-0013
 東京都渋谷区恵比寿1-8-5東洋ビル7A
 Tel. 03-5449-1931(代) / Fax. 03-5449-1935
<http://www.gop.co.jp>

販売店

MA-ST-10D08

(社)仮設工業会認定品

 社団法人 仮設工業会

- このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
- この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
- ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起らないよう、内容にしたがって正しくお使いください。
- また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。

もくじ

表示マークについて	3
各部の名称	4
使用上の注意	5~6
操作方法	7~9
操作①-1天板のセットの仕方	7
操作①-2天板のたたみ方	7
操作②-1感知ガードのセット方法	8
操作②-2感知ガードのたたみ方	8
操作③-1伸縮脚の伸ばし方	8
操作③-2伸縮脚の縮め方	8
操作④-1 LLo(折りたたみタイプ)の組立て方	9
操作④-2 LLo(折りたたみタイプ)のたたみ方	9
故障かなと思った時(不調診断)	10~11
寸法図	12~13
SGセト一日常点検表	14~15

○ご利用の際はコピーしてください。

点検年月日 年 月 日 No.

点検場所 _____

実施者 _____

現場名 _____

タイプ _____

場所 _____

製造管理番号 _____

感知ガード ユニット	組立	収納	ロック	ボルト・ナットの脱落等	シール	判断
			右	右／上 右／下	警告	
			左	左／上 左／下		

天板 ユニット	変形	破損	取付金具の 変形等	ボルト・ナットの 脱落・変形等	シール	判断
			右	右	警告	
			左	左		

上・下 主脚 ユニット	踏さんの 亀裂や変形等	リベットの 脱落等	ねじれ	上部端具	シール	判断
			上／右	上／右	タイプ別／社名 ・危険・警告 脚伸縮・注意	
				上／左		

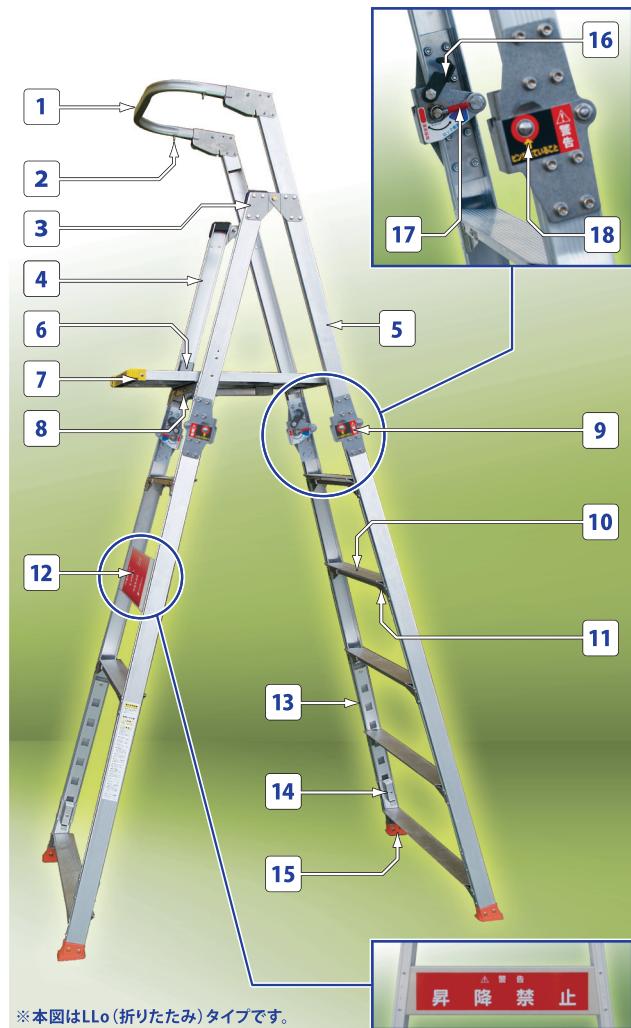
ジョイント 金具	変形	ロック・解除	ボルト・ナットの 脱落等	主軸の変形	シール	判断
		右		右	警告・ 操作	
		左		左		

伸縮脚 ユニット	収納・伸縮	ロック	滑り止め脚座	ボルト・ナットの脱落・変形等	判断
	右	右	右	右	
	左	左	左	左	

	ガタツキ 大きい 小さい 桁側より	ガタツキ 大きい 小さい	点検結果
	妻側より ガタツキ 大きい 小さい	ガタツキ 大きい 小さい	良好 部品交換 滅失
コメント			

SGセトー 日常点検表

番号	名称
1	感知ガード
2	感知ガードストッパー
3	折りたたみ金物
4	主脚ユニット小
5	主脚ユニット大
6	減速装置
7	天板ユニット
8	天板受
9	ジョイント金具
10	踏みさん
11	踏みさん受金物
12	昇降禁止板
13	伸縮脚ユニット
14	ロックレバー
15	滑り止め脚座
16	収納時 ジョイント 金具ロック
17	解除レバー
18	ロックピン



形式	高さ	重量	最大設置幅	作業床	感知ガード高	最大荷重
M	780~1180mm	12.5kg	783~1063mm		—	
L	1180~1580mm	15.5kg	882~1277mm	400×550mm	800mm	150kgf (1,470N)
LLs	1580~1980mm	18kg	981~1491mm		800mm	
LLo	1580~1980mm	21.5kg	948~1491mm		800mm	

表示マークについて

取扱説明書や、製品ラベルに記載されているマーク付の説明は、安全上特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

危険 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負うことが想定される危害の程度。

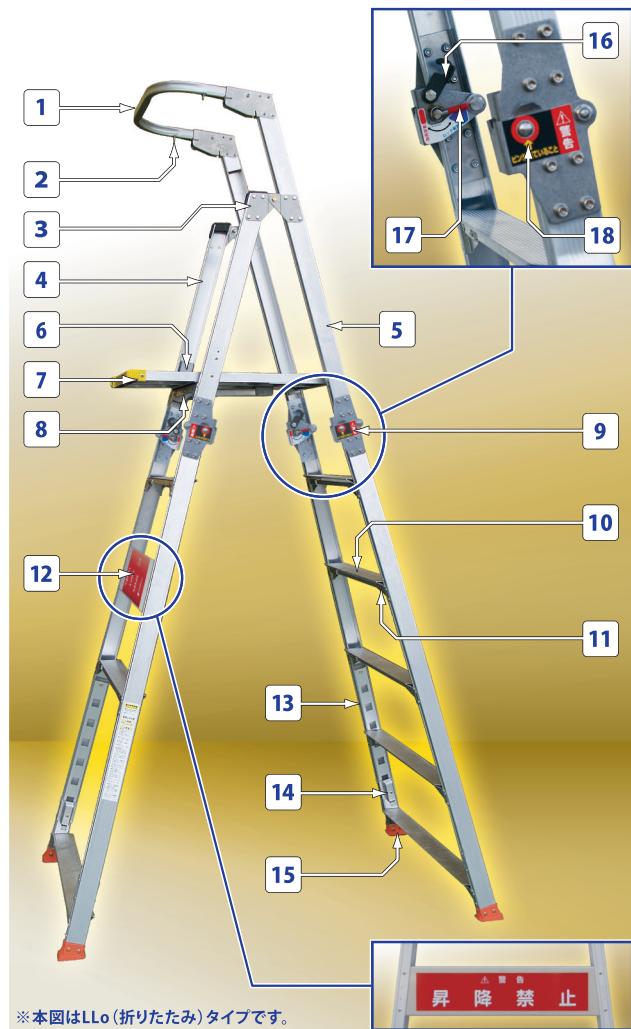
注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

本製品で使用の絵表示

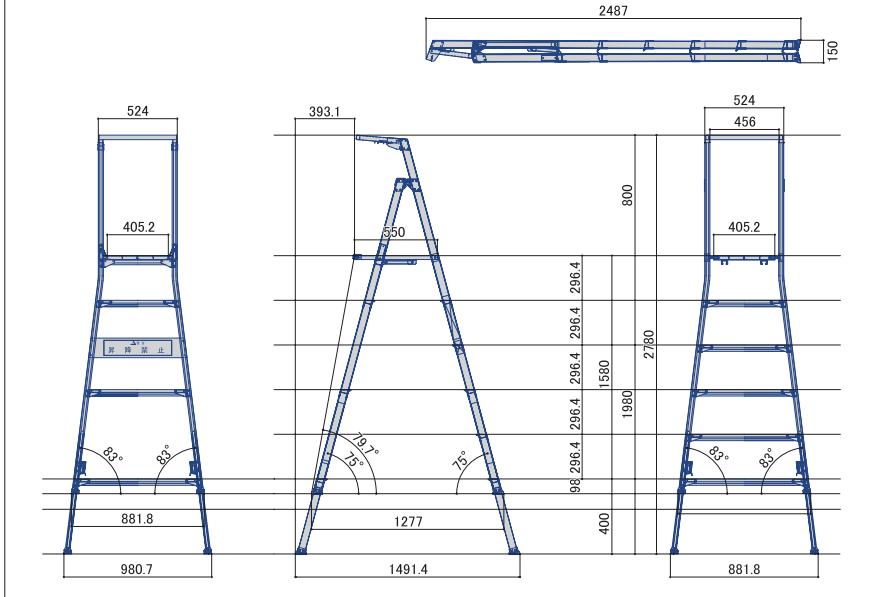


各部の名称

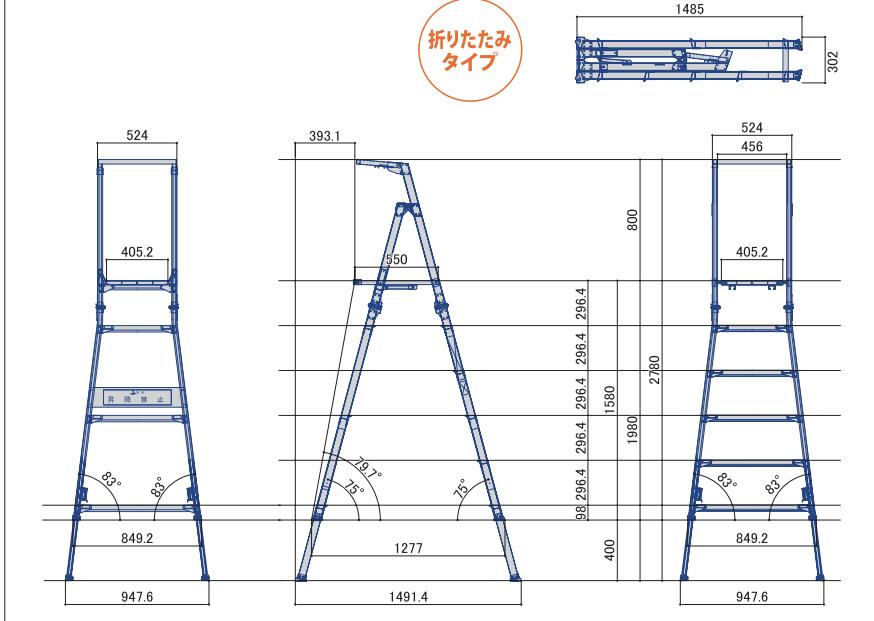
番号	名称
1	感知ガード
2	感知ガードストッパー
3	折りたたみ金物
4	主脚ユニット小
5	主脚ユニット大
6	減速装置
7	天板ユニット
8	天板受
9	ジョイント金具
10	踏みさん
11	踏みさん受金物
12	昇降禁止板
13	伸縮脚ユニット
14	ロックレバー
15	滑り止め脚座
16	収納時 ジョイント 金具ロック
17	解除レバー
18	ロックピン



LLs タイプ



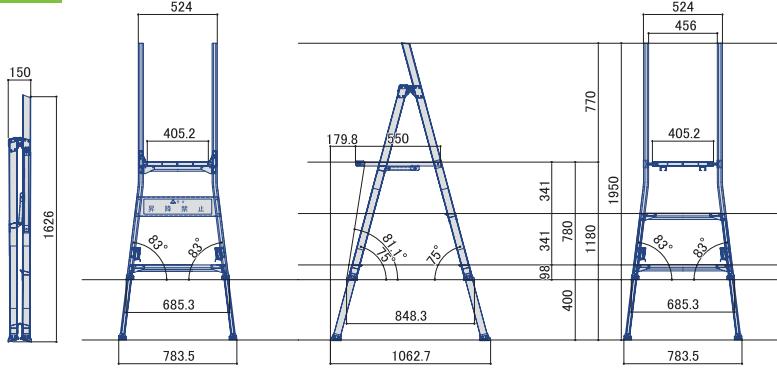
LLo タイプ



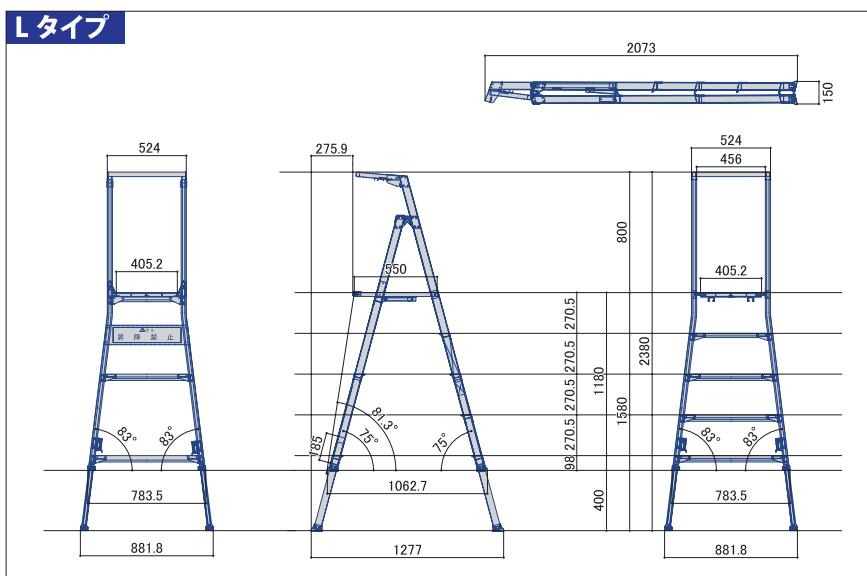
形式	高さ	重量	最大設置幅	作業床	感知ガード高	最大荷重
M	780~1180mm	12.5kg	783~1063mm	—		
L	1180~1580mm	15.5kg	882~1277mm	400× 550mm	800mm	
LLs	1580~1980mm	18kg	981~1491mm		800mm	150kgf (1,470N)
LLo	1580~1980mm	21.5kg	948~1491mm		800mm	

寸法図

Mタイプ



Lタイプ



形式	高さ	重量	最大設置幅	作業床	感知ガード高	最大荷重
M	780~1180mm	12.5kg	783~1063mm		—	
L	1180~1580mm	15.5kg	882~1277mm	400×550mm	800mm	150kgf (1,470N)
LLs	1580~1980mm	18kg	981~1491mm		800mm	
LLo	1580~1980mm	21.5kg	948~1491mm		800mm	

使用上の注意

▲注意 ◇ 単体で使用する。

▲注意 ◇ 次のような場所には、設置しない。

①傾斜している場所。

②天板が水平にならない場所。

③段差や凹凸等により簡易作業台が安定しない場所。

④不意の移動、沈下等のおそれのある場所。

⑤人や物の出入口やドアの前等、専ら通路として使用される場合。
ただし、出入禁止等の表示を行った場合はこの限りではない。

⑥足元や周囲がはっきり見えない暗がりの場所。

⑦作業台を高くするための台や箱の上。

⑧作業箇所に可能な限り近接したところに設置させる。

▲注意 ◇ 足場板の積載荷重は、150kg 以下とする。

▲注意 ◇ 感知ガードはセットした状態で使用する。

▲注意 ◇ 昇降は、天板が水平になっているのを確認した後行う。

▲注意 ◇ 荷の受け渡しは昇降面側より、無理の無い安定した姿勢で行う。

▲注意 ◇ 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたりする等乱暴に扱わない。

▲注意 ◇ 固定機構部にコンクリート等の付着が予想される作業の場合には、あらかじめ当該部分の養生をすることが望ましい。

▲注意 ◇ 設置時や持ち運ぶときは配線に注意すること。

▲注意 ◇ 昇降は昇降面に対し、前向きで行うこと。

▲注意 ◇ 折りたたみタイプのものについては、ジョイント金具がロックされていることを確認すること。

▲禁止 ◇ 墜落のおそれがあるので、作業時に、天板から身体を乗り出さないこと。

▲禁止 ◇ 同時に 2 名以上の者が乗らないこと。

▲禁止 ◇ 脚の下に物を挟まないこと。

▲禁止 ◇ 天板の上で脚立・架台・はしご等を使用しないこと。

▲禁止 ◇ 人を乗せたまま移動しないこと。

▲禁止 ◇ 主脚ユニットを折りたたんだ状態で使用しないこと。

▲禁止 ◇ 踏さん上で作業をしない。

▲禁止 ◇ 作業台としての用途以外には使用しないこと。

- ▲注意** ◇ 作業中に壁を押したり物を引いたりしないこと。
- ▲注意** ◇ 感知ガードに乗ったり、腰掛けたりしないこと。
- ▲危険** ◇ 確実に感知ガードのロックをすること!
- ▲危険** ◇ 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意すること。
- ▲危険** ◇ 感電注意。
- ▲警告** ◇ 作業台としての用途以外には使用しないこと。
- ▲警告** ◇ 天板が水平になるように設置すること。
- ▲警告** ◇ 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには設置しないこと。
- ▲警告** ◇ 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないこと。
- ▲警告** ◇ 固定機構部にコンクリート等の付着が予想される作業の場合には、あらかじめ当該部分の養生すること。
- ▲警告** ◇ 使う前には各部に異常がないことを確認すること。
- ▲警告** ◇ 变形した作業台を使わないこと。
- ▲警告** ◇ 使うときは、脚調整装置を確実にロックすること。
- ▲警告** ◇ 作業台を背にして降りないこと。
- ▲警告** ◇ 作業台から身を乗り出して作業しないこと。
- ▲警告** ◇ 踏さん上では、作業を行わないこと。
- ▲警告** ◇ 荷物を持って、昇り降りしないこと。
- ▲警告** ◇ 天板の端で作業をしないこと。爪先立ちや片足で立たないこと。
- ▲警告** ◇ 天井の上に人や荷物を乗せたまま、伸縮脚の長さ調節をしないこと。
- ▲警告** ◇ 作業中に上ばかり気をとられて足を踏みはずさないように注意すること。
- ▲警告** ◇ 手をはさまないように注意。

◇ 折りたたんだ時、脚がぴったりと合わない。

点検する箇所	処置の仕方
収納した時、ジョイント金具の変形や主脚の曲がりはありませんか。	ある場合は使わないでください。
ジョイント金具をとめているリベットが緩んだり外れたりしていませんか。	ある場合は使わないでください。

◇ 伸縮脚が動かない。

点検する箇所	処置の仕方
伸縮脚が曲がっていませんか。	曲がったものは使わないでください。
伸縮脚と主脚の間に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	凍結部を解凍し、異物を完全に取り除き、伸縮脚と主脚の間に機械油、潤滑油スプレーを注入し、それでも動きが悪い場合は、使用しないでください。
伸縮脚と主脚の間が凍結していませんか。	

◇ 伸縮脚がロックできない。

点検する箇所	処置の仕方
伸縮脚の角孔部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	凍結部を解凍し、角孔部の目詰まり原因物(異物)を完全に除去してください。取れない場合は使用しないでください。
伸縮脚の角孔部に凍結や雪による目詰まりを起こしていませんか。	
伸縮脚の角孔形状が欠けたり角が磨耗又はくぼんだりしていませんか。	ある場合は使わないでください。

◇ 伸縮脚のロックレバーが動かない。

点検する箇所	処置の仕方
伸縮脚の伸縮機構部に、泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が入り込んでいませんか。	異物を完全に取り除きロックレバーに潤滑油をスプレーしてください。

【故障かな? と思ったら(不調診断)

○使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置の仕方
主脚と踏さん、主脚とジョイント金具の接合部に緩みやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないでください。
開き止めと天板、開き止めと主脚の接合部に緩みやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないでください。

○感知ガードが組立て・収納できない。

点検する箇所	
感知ガードフック、もしくは感知ガードロックに変形・破損はありませんか。	ある場合は使わないでください。
感知ガードに、曲がりへこみ等の変形はありませんか。	ある場合は使わないでください。

○大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置の仕方
全体が大きく変形していませんか。	曲がった物は使わないでください。
主脚、踏さん及び天板に、曲がりへこみ等の変形はありませんか。	ある場合は使わないでください。

軽量作業台

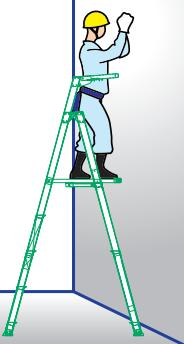
SGセトー

SGセトー機能性と安全性

「軽量化」を重視し、壁際作業のニーズを叶えるセトーシリーズです！



作業台の踏みさん幅の常識を覆す超ワイドな70mm幅の踏みさんは、強度もアップし、より高い安全性を実現！



操作方法

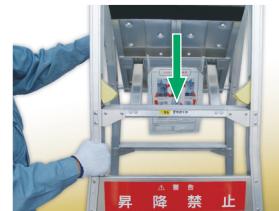
操作①-1 天板のセットの仕方



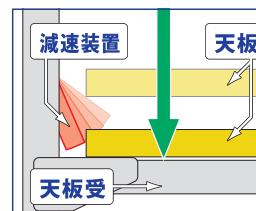
1 本体を立てる。



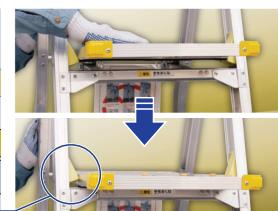
2 主脚ユニットを開き、天板が水平になるまで倒す。



4 天板のセット完了。



3 手挟み防止の減速装置を押し下げ、天板が天板受に届くまで倒す。



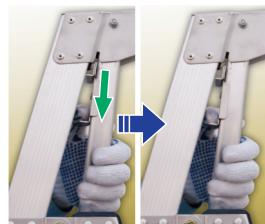
操作①-2 天板のたたみ方

天板をたたむ時は、本手順と逆手順にて行ってください。

操作②-1 感知ガードのセット方法



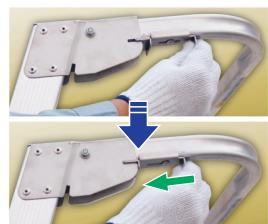
1 本体を設置する。



2 ロックを引き出し解除する。



3 水平になるまで起こす。



4 ロックを押し込みロックする。



5 感知ガードのセット完了。



操作②-2 感知ガードのたたみ方

感知ガードをたたむ時は、本手順と逆手順にて行ってください。

操作③-1 伸縮脚の伸ばし方



1 本体を持ち上げ、踏みさんを膝に乗せる。



2 ロックレバーを引いて伸縮脚を引き出す。



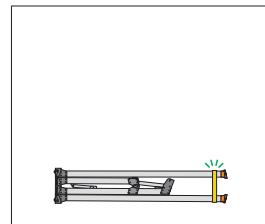
3 設置完了。

操作③-2 伸縮脚の縮め方

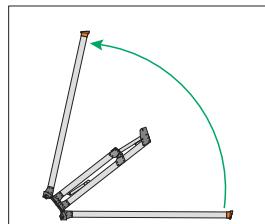
伸縮脚を縮める時は、本手順と逆手順にて行い、最後に確実にロックされていることを確認してください。



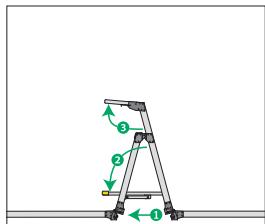
操作④-1 LLo(折りたたみタイプ) の組立て方



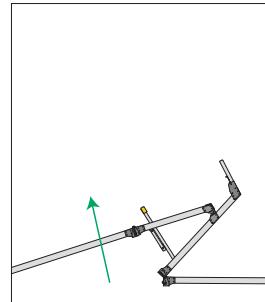
1 本体を寝かせ、黄色いバンドを外す。



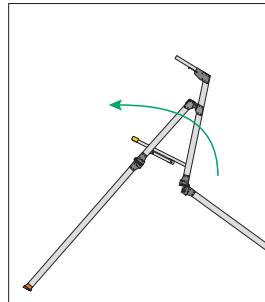
2 兩主脚のジョイント金具のロックを外してから、主脚上部を開き、天板と感知ガードをセットする。



3 主脚上部を開き、天板と感知ガードをセットする。



4 片方の主脚ユニットを起こし、伸ばす。



5 もう片方の主脚ユニットを伸ばしながら本体を持ち上げる。



6 組立完了。



※ ロックピンが確実にロックされているか確認してください。
※ ジョイント金具部に手をはさむ恐れがあります。必ず踏さんを持って開閉してください。
※ ロックピンが出ていることを確認してください。
※ ジョイント金具の締結ボルトにゆるみ、外れが無いか確認してください。

操作④-2 LLo(折りたたみタイプ) のたたみ方

LLo(折りたたみタイプ)をたたむ時は、本手順と逆手順にて行ってください。